

ゼミ活動報告 「ディベート大会」

氏名 馬場 彩愛

6月25日（日）、証券研究関西学生連盟主催の「春季セミナー大会」に参加しました。今回は「企業の負債調達において『銀行借入』と『社債発行』のどちらを選択すべきか」というテーマのもと、ディベート形式で討論するというものでした。今年は3チーム1つ、4チーム3つの4ブロックに分かれていて、私たち宮川ゼミは5期生6期生混合の3チームに分かれて参加しました。

私が所属したチームは1戦目が銀行借入側、休憩を挟んで3戦目が社債発行側として討論しました。私自身、ゼミ内で練習したにも関わらず瞬発力は身につけきれず、質問や反駁、解答において先輩方や同期に任せっきりになってしまったのが反省点であり、勉強になった点でもありました。また、他大学と討論したり、他大学同士の討論を見たりすることで、どちらの立場においても今まで思いつかなかったようなアプローチの仕方に気づくことができたことも収穫の1つでした。

そして、大会の結果は全チーム優勝でした。私たち6期生はディベートを経験したことがない上、銀行借入と社債発行に対する知識をあまり持っていないというスタート地点から、宮川先生や先輩方のサポートのおかげで約1か月という短い準備期間の中、このような結果を残すことができました。本当にありがとうございました。

今回学んだことを活かしてこれからも成長し続けられるように頑張っていきたいと思います。



本稿は大阪市立大学商学部宮川研究室ゼミ生の活動報告を目的として本学学生が作成したものです。本稿に掲載される個人名や企業名はご本人のご協力を得て掲載許可をいただいています。ただし、内容については執筆者の主観的感想や主張が入っており、事実とは異なる場合があります。本稿の目的以外にご使用にならないようお願いいたします。